

第2章

目指す姿と共通戦略

強い企業づくり

共通戦略1

革新的な経営戦略に
踏み込んだ支援の推進

強みを活かした 地域産業の振興

共通戦略2

新たな可能性を切り拓く
多様な連携の推進

企業と地域経済を支える商工会運営の強化

共通戦略3

成果を創出し続ける組織・運営体制の構築

第2章 目指す姿と共通戦略

1 10年先を見据えた商工会の目指す姿

プラン策定に当たっての基本認識及び推進の基本姿勢を踏まえ、商工会の目指す将来の姿を「企業支援」「地域経済活性化」「組織運営」の3つの視点から展望し、目指す姿の実現に向け取り組んでいきます。

その実践に当たっては、商工会共通の旗印として掲げた「変化に対応し確かなビジョンと実行力で地域と事業者とともに挑み続ける商工会」の下、組織とヒトの力をフルに発揮した「弛まぬ挑戦」を重ね、事業者と地域経済の新たな可能性を切り拓いていきます。

(1) 将来を見据えた企業の挑戦と成長を支える戦略的な支援を展開する商工会

社会・経済環境がスピードを増して大きく変化している中、従来の経営スタイルでは一定の限界があることを念頭に置き、これからの企業経営は、成長分野への事業転換やデジタル技術を活用した生産性の向上など、企業成長の原動力となる革新的な取組に積極的にチャレンジしていくことが重要です。

特に、コロナ拡大により大きく変化したビジネス環境に対応していくことは、業種業態や企業規模にかかわらず全ての事業者に通じる経営課題となっています。ICTを活用したりモート化やオンライン化はもとより、ライフスタイルの変化に伴う需要への対応など、新しい社会様式に対応したビジネスモデルの構築に取り組んでいかなければなりません。

また、頻発する自然災害や新たな感染症などに備えるリスクマネジメント対策を進めていくことも、経営の維持・発展に欠かせない取組となっています。

こうした課題への対応は、とりわけ厳しい経営環境に置かれている本県事業者にとって、避けて通れないものであり、その成否は将来を大きく左右すると言っても過言ではありません。

このため、商工会は、現在実施している個社支援に更に磨きをかけ、新事業の展開や新分野への進出、経営の多角化、デジタル化やグローバル化への対応などを着実に進め、事業者が変化を乗り越え、新たなビジネスチャンスや成長につなげていくためのサポートを徹底して進めていきます。

(2) 1次産業などとの多様な連携を積極的に進め新たな可能性を拓ける商工会

本県では人口減少をはじめ、生産年齢人口の減少や少子高齢化が進み続けています。その影響を受け、県内事業者は、市場の縮小や消費行動の急速な変化への対応をはじめ、若年層の採用難問題など厳しい経営課題に直面しています。そのどれもが簡単には解決できないものではありますが、将来の持続的発展のためにあらゆる方策を講じてこれを乗り越えていかなければなりません。

そのために必要なことは、これまで続いてきた地域の中小・小規模企業のビジネスモデルや雇用モデルはこの先成り立たなくなる恐れがあることを前提に、将来を見通した戦略と経営計画を立て、着実に実行していくことです。

その有効かつ重要な方策となるのが、多様な「連携」を核にした新たなビジネスモデルの構築です。

経済環境や消費構造が大きく変化し続けている中であって、例えば新しい市場の開拓や商品の開発など、事業者単独では様々な制約により実現が難しい課題について、事業者同士や1次産業従事者など関係者が連携することによって、現状の閉塞感を打破し可能性を拓けるこ

とつながっていきます。

地域と共存・共栄してきた地元企業は、経営基盤は強いとはいえないものの他にはない技術や強みを持ち、機動力、地域の情報受発信力にも優れています。こうした企業のもつ特性を活かすとともに、小規模の弱点を補完することにもつながる連携は小規模企業にこそ必要な戦略的な取組です。

このため、商工会は、「多様な連携」の促進を本県の経済や企業経営の実態を踏まえた将来性の高い取組として、商工会活動の柱の一つに据え強力に進めていきます。

事業者同士をつなぎ合わせるマッチングの仕組みづくりや他産業との連携事業の実施のほか、関係機関や専門家との連携による高度な経営課題への対応、地域の課題解決に結びつく独自の事業者間連携事業の開発などを進め、企業、市場、地域の新たな可能性を切り拓いていきます。

また、自然や伝統・文化、特産品など、その地域の資源を有効に活用し、地域間の競争力を高め、他ではまねのできない秋田県ならではの付加価値を生み出していく「地域との多様な連携」を進めることもこれまで以上に重要となっています。

このため、商工会は、人も含めた地域資源と連携した新たな事業の開発をはじめ、ビジネス手法を活用した生活やコミュニティを支えていくための取組のほか、移住促進対策と連携した若年者や女性による起業促進など、地域に焦点を当てた連携を地域と一体となって取り組んでいきます。

(3) 厳しい状況にあっても事業者とともに挑戦し成果を創出する足腰の強い商工会

商工会の果たすべき最大の役割は、地域経済を支え地域活性化の基盤となる事業者が、社会経済情勢の変化に対応しながら将来にわたって事業を継続・発展させ、地域経済の好循環につなげていくことです。地域や事業者を巡る環境が厳しくなる中、商工会の役割はこれまで以上にますます大きくなっており、地域の総合経済団体として、事業者が実感できる成果を出し続けていかなければなりません。

その実現のためには、変化に対し的確、迅速に対応すること、将来を見据えた戦略的な方策を打ち出すこと、商工会と事業者が信頼の絆で結ばれていること、高い志と熱意をもった役員とプロとしての意識とスキルを有する職員が一体となって取り組むこと、そして、これらを可能にする組織・運営基盤を構築することが不可欠です。

とりわけ、効果的・効率的な組織運営と人材育成の強化は商工会活動を支える基盤となるだけに、将来のあるべき姿を踏まえ改善や変革が必要なものについては、前例や慣習にとらわれない思い切った姿勢で臨んでいく必要があります。

こうした考え方の下で、事業者の成長を支え挑戦を促していくために欠かせないプロフェッショナルな人材の育成を徹底するとともに、県連合会や商工会同士、さらには関係機関も含めたチームによる支援を強化し、高度で複雑化する経営課題に対応していきます。

本県においても事業者数や会員数の減少に歯止めがかからない中、将来的には商工会の職員数の削減や歳入の減少も視野に入れていかなければならない懸念が現実味を帯びてきています。

このため、将来的なリスク管理の観点からも、限られたマンパワーと財源を効率的かつ効果的に活用するため、会員増強活動を更に強化しつつ、支所の統廃合も含めた組織機構の見直しをはじめ、前例のない商工会同士による業務連携や商工会の垣根を越えた事業実施のほか、ICTの積極的な活用等を柱とする「仕事の仕方改革」を進めます。さらに、主体的な商工会活動

の経済的裏付となる自主財源の確保を含めた財政基盤の強化にも取り組んでいきます。

また、商工会の存在意義を高めるとともに地域連携を強化するため、地元のリーダーとして指導力と影響力の大きい役員が主体となった組織活動を強化するほか、次代を担う青年部や地域を守る女性部が、地域のこれからの視野に入れた活動を主体的・自立的に展開できる枠組みを整えていきます。

2 商工会の目指す姿の実現に向けた共通戦略

10年先を見据えた商工会の目指す姿を実現するため、次の共通戦略に基づき、県連合会と21商工会が共に取り組みます。

戦略1：革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進

多様化・高度化する経営課題に的確に応え、将来にわたって持続可能な企業成長につながる革新的な取組に挑む事業者の「変革」と「挑戦」を支えるため、社会・経済環境の変化や事業の将来性を見据えた戦略的な個社支援を推進します。

主な取組

事業者ごとの支援策を明確にした「個社支援計画」を策定し、計画に基づく支援の実行により、新分野進出などの経営革新や生産性向上のためのデジタル化など、事業者の成長につながるサポートを積極的に働きかけます。

戦略2：新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進

大きく変化する経済環境や消費市場に対応し、事業者や地域経済の新たな可能性を切り拓いていくため、事業者同士の連携や1次産業をはじめとする他産業との連携など「多様な連携」を推進します。

主な取組

事業者同士をつなぎ合わせる仕組みづくりや他産業との連携事業の実施による付加価値の創造のほか、商工会自らも関係機関や専門家と連携した支援により高度な経営課題に対応していくなど、様々な連携策を推し進めます。

戦略3：成果を創出し続ける組織・運営体制の構築

地域経済をリードする総合経済団体として、事業者の持続的な発展と地域経済の活性化に貢献する成果を出し続けるため、将来を見据えた戦略的な方針に基づく効果的で効率的な組織・運営体制づくりを進めます。

主な取組

より高度な経営課題に対応できるプロフェッショナルな支援人材の育成や商工会同士の連携による業務の効率化を進めるとともに、支所の統廃合も含めた組織機構の見直しを図るなど、時代と環境の変化に対応した組織づくりを進めます。